

クリスチャン生活と召会生活における神の王国の発展

(土曜日——午前の第一の部)

メッセージ 4

霊にしたがって人を顧みることによって、
また神の赦しを認識することによって、王国の生活をする

聖書：マタイ 7:1-12. 18:1-35

I. マタイ第7章1節から12節は、王国の民が人を取り扱う原則に関してであり、王国の民に対する天の支配が、霊にしたがって人を顧みることを要求していることを啓示しています——参照、士 9:8-9：

A. 王国の民は、王国の天的支配の下でへりくだった霊の中で生きて、常に人を裁くのではなく、自分自身を裁きます——マタイ 7:1：

1. もしわたしたちが義をもって人を裁くなら、主によって義をもって裁かれます(2節)。もしわたしたちがあわれみをもって人を裁くなら、主によってあわれみをもって裁かれます。あわれみは裁きに打ち勝ちます——ヤコブ 2:13。
2. わたしたちが人を取り扱うためには、自分自身を拒絶し、人を思いやり、人に同情し、人に対してあわれみ深くなければなりません。わたしたちの兄弟の目にある木くずは、自分自身の目にある梁をわたしたちに思い起こさせなければなりません——マタイ 7:3。
3. わたしたちは、目に梁がある限り、わたしたちの目はぼやけて、はっきり見ることができません——4-5節。

B. わたしたちは、聖なるものを犬に与えたり、わたしたちの真珠を豚の前に投げたりすべきではありません。それは、彼らがそれを足で踏みつけ、向き直って、わたしたちを引き裂くことがないためです——6節：

1. マタイ第7章6節の「聖なるもの」とは、神に属する客観的な真理を指しているに違いありません。「あなたの真珠」とは、わたしたちのものである主観的な経験を指しているに違いありません。
2. 犬はひずめがなく、反芻もしません。豚はひずめが分かれています、反芻しません。ですから、両方とも汚れています——レビ 11:27, 7. 参照、使徒 10:1-15, 28。
3. II ペテロ第2章12節、19節から22節、ピリピ第3章2節の啓示によれば、マタイ第7章6節の「犬」と「豚」は、宗教的であるが、清くない人たちを指しています。
4. わたしたちは真理について、あるいはキリストに対する尊い経験について人に語る時、自分たちが分け与えようとするのを、彼らが受け取る能力を持っているかどうかを見分け、判断しなければなりません。

C. わたしたちは人々と接触して、彼らを取り扱っているとき、彼らと接触する正しい方法を求め、捜し、門をたたかなければなりません——マタイ 7:7-8. I テモテ 5:1-2：

1. 求めるとは普通に祈ること、捜すとは特別に嘆願すること、門をたたくとは最も親密で最も熱心な方法で要求することです。

2. 王国の民が人と接触する最上の方法は、王国にしたがって、またその霊にしたがってです——マタイ 7:9-12. 参照、ルカ 11:13。
3. わたしたちは、自分自身を神の中へと祈り込み、彼の霊の中に具体化されている豊富を受けて、自分自身と自分の顧みの下にあるすべての人を養う必要があります——1-13 節。
4. わたしたちは、十字架を通して、またその霊によってすべての事を行ない、キリストのからだのためにキリストを人の中へと供給することを、学ばなければなりません——参照、歴代下 1:10。

II. 王国の生活、神・人の生活、召会生活をするために、わたしたちはへりくだって、どの信者たちもさげすむのではなく、わたしたちの兄弟を愛し、赦さなければなりません——マタイ 18:1-35. 5:48. 7:13-14. ローマ 14:17 :

- A. 王国の生活をするために、わたしたちはへりくだって、小さい子供のようにならなければなりません——マタイ 18:2-4。
- B. 王国の生活をするために、わたしたちは人をつまづかせたり、何のつまづくものも置いたりすべきではありません——5-9 節. 参照、11:6。
- C. 王国の生活をするために、わたしたちは小さな信者たちさえ、さげすむべきではありません——18:10-14。
- D. 王国の生活をするために、わたしたちは自分の兄弟を無制限に赦すべきです——21-35 節 :
 1. 罪を犯している兄弟をわたしたちが赦すのは、七回を七十倍まででなければなりません——21-22 節。
 2. わたしたちは、主がわたしたちを赦したように、人を赦さなければなりません :
 - a. わたしたちが主に対して負っている負債は、返済することができません——23-26 節。
 - b. 主はわたしたちの敗北したクリスチャン生活におけるわたしたちの負債を免除して、わたしたちと彼との交わりを回復しました——27 節。
 - c. 他の人がわたしたちに対して負っている負債は、わたしたちが主に対して負っている負債と比較すれば微々たるものです——28 節。
 - d. もしわたしたちが、自分に罪を犯す兄弟を赦さないなら、それは他の兄弟たちを悲しませ、そして彼らはこの事柄を主にもたらずでしょう——28-31 節。
 - e. もしわたしたちが今日、心から兄弟を赦さないなら、来たるべき時代に、王国に入ることを許されないでしょう——32-35 節. 参照、マルコ 11:25-26。

III. わたしたちは、神の王国には五種類の赦しがあることを見て、認識しなければなりません :

- A. 永遠の赦しがあります——これは命と関係があります :
 1. わたしたちの救いに伴って来る赦しは永遠の赦しです。
 2. いったんわたしたちは赦されるなら、永遠に赦されます。わたしたちは永遠の命を永遠に受け、永遠に義とされます——ルカ 24:47. ローマ 4:7-8. 詩 103:12。
 3. わたしたちは主イエスの中へと信じた瞬間に、わたしたちのすべての罪は赦されます。主はわたしたちのすべての罪を取り除き、神の御前に何の罪の痕跡も残さ

れていません——使徒 10:43. ヘブル 8:12。

B. 委託の赦しがあります——これは召会と関係があります：

1. 主は聖霊を彼の召会に遣わしたとき、召会が地上で彼の代行となるように命じました。赦しは今や、召会を通して与えられます——ヨハネ 20:22-23。
2. 委託の赦しは、神が人を通して赦しを宣言することです。もし人が新しく救われても、赦しの意義を知らないなら、召会の代表が立ち上がって彼にこう言うのはすばらしいことです、「あなたは今日、主を受け入れました。あなたは主に感謝することができます。なぜなら、彼はあなたの罪を赦してくださったからです！」。

C. 回復の赦しがあります——これは交わりと関係があります：

1. わたしたちが日常生活の中で罪を犯すとき、わたしたちの良心はわたしたちを罪定めし、わたしたちと神との交わりは中断されます——使徒 24:16. I テモテ 1:5. 3:9. II テモテ 1:3。
2. わたしたちと神との命における御父と子の関係は決して変わることがあり得ませんが、罪はわたしたちと神との交わりを損ない得ます。わたしたちは自分の罪と違犯を神に告白しなければなりません。そうしてはじめて、交わりの中で赦されることができます——I ヨハネ 1:7, 9. 2:1-2。
3. もしわたしたちが自分の兄弟を怒らせてしまったなら、彼らにも告白しなければなりません——マタイ 5:23-24。
4. わたしたちは自分自身を、神との絶え間のない交わりの中に維持しなければなりません。わたしたちは神に来るとき、自分の罪深い行為を正直に認め、彼に赦しを求めなければなりません。こうするなら、わたしたちと神との交わりは回復され、わたしたちの心は救いの喜びで満たされるでしょう——詩 51:12. 箴 15:13 前半. 17:22 前半. 15:15 後半。
5. クリスマン生活の秘訣は、自分自身を神との絶え間のない交わりの中に維持することです。もしわたしたちが失敗するなら、神に赦しを求めなければならず、神と持っていた甘い交わりを回復しなければなりません——I ヨハネ 1:9。

D. 統治上の赦しがあります——これは取り扱いと関係があります：

1. この種の赦しは、神の案配、主権、取り扱い、御手と関係があります。神の統治は、彼が事を行なう方法です。それは神の行政です。
2. 神の統治上の赦しは、神がわたしたちを管理し、支配し、対処する方法と関係があります——ガラテヤ 6:7。
3. わたしたちが神に対して罪を犯すとき、自分の罪を彼に告白するなら、彼はわたしたちを赦します。わたしたちと神との交わりは回復されることができますが、彼はわたしたちに対する彼の方法を変えるかもしれません。
4. ダビデは自分の罪を告白し、自分の咎を認めて、神によって赦されましたが（サムエル下 12:13. 詩第 51 篇）、神はウリヤの妻に生まれた男の子を死なせ、剣がダビデの家から離れないようにしました（サムエル下 12:7-15）。
5. わたしたちが神の統治上の取り扱いの下にいるとき、行なうことができる唯一の事は、神の力ある御手の下にへりくだるのを学ぶことです（I ペテロ 5:5-7）。わ

たしたちは神の統治上の御手を拒絶すればするほど、ますます問題に遭遇します。

6. モーセはメリバで岩を打った後（民 20:10-12, 24. 27:14）、神の統治上の御手の下に陥りました：

- a. モーセは、神が怒っていないときに怒って、神の聖なる性質において神を正しく代行せず、岩を二度打つことで、神のエコノミーにおける神の言葉を守りませんでした。こうして、モーセは神の聖なる性質と彼の神聖なエコノミーの両方に違犯しました。
- b. このことのゆえに、たとえモーセが神に対して親密であり、神の仲間と考えられていても（出 33:11）、彼は良き地へと入る権利を失いました。
- c. わたしたちが神の民に関して言い、行なうすべてにおいて、わたしたちの態度は神の聖なる性質にしたがっていないければならず、わたしたちの行動は彼の神聖なエコノミーにしたがっていないければなりません。これが彼を聖とすることです。

7. わたしたちは他の人に対して寛大であることを学び、常に赦すことを学ばなければなりません。もしわたしたちが軽率に他の人を批判し、容易に他の人を罪定めし、他の人の振る舞いについて非難し続け、彼らから受ける虐待を数え続けるなら、これはわたしたちを神の統治上の御手の下にもたらしめます。もしわたしたちが他の人に対して厳格であるなら、神もわたしたちに対して厳格になるでしょう——マタイ 6:15. 18:23-35：

- a. わたしたちは神を畏れ、神をあがめ、神を敬い、神を尊び、神を畏怖することを学ばなければなりません——詩 2:11-12. 86:11. II コリント 5:10-11. イザヤ 11:2。
- b. 他の人が困難にあるとき、それはわたしたちが彼らを助ける時であって、彼らを批判する時ではありません——参照、創 14:14-16。
- c. 今日、みじめに墮落した多くの兄弟たちがおり、それはただ一つの理由によります。すなわち、彼らは過去あまりに厳格に他の人を批判したのです。今日、彼らの弱さの多くは、彼らが過去に批判したその弱さです。
- d. わたしたちは神の統治上の御手を避けたいなら、他の人に対して寛大でなければなりません。わたしたちが互いに愛し合い忍び合うことを学びますように——エペソ 4:32。

E. 王国の赦しがあります——これは行政と関係があります：

1. もしわたしたちが人々をあまりに厳しく扱ったり、あるいはこの時代に赦さない霊を持ったりするなら、王国時代に取り扱われるでしょう——ルカ 6:37-38. マタイ 18:33-35。
2. もしわたしたちがつらく当たる方法で他の人を扱い、容赦なく他の人を批判するなら、神は将来わたしたちを同じように対処します——7:1-2。
3. 主がわたしたちに恵みを賜わって、他の人にあわれみを示し、そして他の人をつらく、鋭く、厳しく対処することをしない者としてくださり、わたしたちがかの日に神からあわれみを得ることができるよう——5:7. 参照、II テモテ 1:16, 18。